

国保小見川総合病院からのお知らせとお願い

平素は、国保小見川総合病院にご支援ご鞭撻をいただいております、職員一同感謝致しております。

ご存知のごとく現状では、香取海匝地区は厳しい医師不足のあおりを受けて、地域医療は困窮しております。

若手の医師が当地域に集まらず、旭中央病院でも診療科によっては旭市以外の住民の診察は依頼できない状況です。

当院でも、10月から整形外科で脊椎センターに特化した専門の領域に、診察を限らせていただかなくてはならない状況に陥りました。

住民の皆様には、ご不便ご迷惑をお掛けすることになりますが、地域医療を守るために、ご理解をいただきたくお知らせいたします。

幸い当医療圏には、県立の佐原病院があり、今後は支援を願うことも多く協力体制を強めていきたいと考えています。

なお、外科と内科に関しましても、今後も医師確保が大変厳しい状況で、夜間の救急等でも当分の間は、ご不便をお掛けいたすことをお許しください。

また、病院建物の老朽化も限界に近く進行しており、住民の方々の建て替えへの心のこもった多大な陳情署名をいただいております。

現在、香取市長、東庄町長はじめ関係各位と連携して、千葉県と話し合いを進めており、今年度中には当地域の今後の医療体制の方向性が示される予定です。

今後も限られた医療資源の中で、より効率的な医療体制確立のため微力ながら皆一団となって尽力してまいりますので、住民の皆様のご理解のほど重ねてお願い申し上げます。

平成25年9月2日

国保小見川総合病院長 他職員一同